

議会改革推進会議「主権者教育部会」会議録

令和 8 年 5 月 1 9 日

亀 山 市 議 会

議会改革推進会議「主権者教育部会」会議録

- 1 開催日時 令和8年5月19日(火) 午前10時50分～午前11時45分
- 2 開催場所 第1・2・3委員会室
- 3 出席会員

部 会 長	福 沢 美由紀			
副 部 会 長	森 美和子			
部 会 員	古 田 吉 昭	櫻 木 善 仁	深 水 隆 司	
	草 川 卓 也	中 島 雅 代	森 英 之	
	今 岡 翔 平	新 秀 隆	鈴 木 達 夫	
会 長	岡 本 公 秀			
副 会 長	豊 田 恵 理			
- 4 欠席会員 なし
- 5 事務局

議会事務局長	大 泉 明 彦	議事調査課長	麻 生 俊 哉
議事調査グループGL	木 戸 将 文		
書 記	山 北 康 仁		
- 6 案 件
 1. 主権者教育の実施について
 - (1) 出前授業の募集記事について
 - (2) 今後の主権者教育の進め方について
 2. その他
- 7 経 過 次のとおり

午前１０時５０分 開 会

○部会長（福沢美由紀君） ただいまから議会改革推進会議第２回主権者教育部会を開会いたします。
それでは、事項１．主権者教育の実施について。

（１）出前授業の募集記事についてです。

出前授業の募集記事については、前回の部会で正・副部会長に一任いただき、皆さんにはご覧いただきましたが、資料１をご覧ください。

資料１のとおり、６月１日号の議会だよりに掲載いたします。また、この内容を基にホームページにも記事を掲載する予定ですので、ご承知おきください。

ここについてはよろしいですか。

特にないですか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） それでは次ですけれども、今後の主権者教育の進め方についてです。

先ほどの記事のとおり、出前授業、議場見学、ワークショップの推進をするわけなんですけれども、これを具体的にどういうふうにしていくかというのをちょっと少しずつ固めていきたいなあと思います。

まず、議場見学についてです。

早々から申込みがありましたので、今回２回させていただいたところですが、小学校３年生が従来から議場見学をされるということで、その機会を捉えて議会の説明を行うということが、主権者教育の取組として大きな意義があるとは考えております。

先日、５月８日、そして１５日に実施いたしました亀山東小学校と亀山西小学校の３年生の議場見学、急でしたけれども、都合のつく方はお集まりいただきました。当日は、１クラス２０分から３０分程度でした。およそ内訳として議場の座学に１０分、議場及び傍聴席の見学を１０分、割とそこはちょっと長引くかな。あと委員会での座学に５分という計画で進めました。議場での座学では、資料２をご覧いただきたいんですけども、資料２をモニターに映して、示しながら進めました。実施する以前からいただいたご意見もありますし、ご参加いただいた部会の皆さんに１回するごとにお気づきになったことを言っていただいて、どんどん改善してはいました。今後、議場見学を進めていく上でどのようにしていけばいいか、また資料についてもご協議いただきたいと思うんですね。参考資料として今も見いただいていますこの間使わせてもらった資料と、全国議長会、全国市議会議長会から主権者教育の事例集とかリーフレットが出ているということで資料に入れさせていただきました。

まずは、この２回したところで、この議場見学についてちょっとまずご協議いただきたいんですけども、もっとこうしたらよかったんじゃないのかとかというのがありましたら。一応、出席されなかった方も見えますのでご説明しますと、この資料を用いまして、亀山市議会、まず入っていただきまして、ここが市議会だよということで、これはどういうところなのという話をして、市議会と市長がそれぞれの役割を持ってここで話すんだよということを説明しまして、その議員というのはどうやって選ばれるのか、市民にどうやって選ばれるのか、市民から選ばれますよということで選挙のお話をさせていただきました。１回目の反省で先生方にご意見を伺ったところ、私もちらっと児童会あるよね、あれと一緒にねということをやったのが、あそこにもっと寄せて話をしてもら

うと子どもたちが分かりやすいというご意見を頂戴しましたので、2回目のときには大分児童会になぞらえて、まずはお話をさせてもらったところです。

中学生議会のテキストにありました議員はどんな仕事をしているのというところで、それをちょっと優しい言葉に変えました。ただ、私個人的に思ったのが、お話しすると伝えるがちょっと同じような意味になってくるので、やっぱりここは中学生議会は議論するという話になっていたんですね。だから話合いをしたら何かちょっと一方的にしゃべるんじゃないかと、やり取りをすることが分かるような言葉に変えたほうがいいかなということは反省として思いましたのと、あと中学生議会ではこの4つのものを出した後、聞くはどんなんや、調べるはどうなんやということで、それぞれのものもあつたんですね。これから誰でも説明していけるようにするためには、それもあつたほうが流れるにあらを見ながら話をしていく。今までの中学生議会の授業でやってみたいな感じで、誰でもができるようになると思うので、それも加えてちょっと小学生バージョンを作ったほうがいいのかと感じたところではございます。

あと、私が先に言わせてもらって申し訳ないんですけども、やっぱり子どもたちはこの庁舎を見学して、議場も見学するという形なので、市役所はどんな仕事をしているのか、市議会はどんな仕事をしているのかというざくっとした位置づけももうちょっと、中学生議会にはありましたので、それもちょっと最初にあつたほうがいいのかというところは感じたところではございます。

反省点としては、あのときはみんなが入ったときにまずもう真っ赤なじゅうたんで、段差があつて、わあすごいと言って走り出す子もいたりして、ちょっとつまずいたり、ちょっと高揚するというんですかね、気分が、ちょっと危ないなと思ったので、最初は25人ぐらいだったんですけども、2日目のときは35人ということで心配していたんですけども、教育委員会の先生たちがそこはやっぱりちゃんと見ていてくださっていたので、座席に着席をきちんと率先してさせてくださって、好きに好きなところに座りなというよりも、そうやってあなたはここに座ってとちゃんと言ってくさつたので、冷静に見学会を始めることができました。それで、みんなの姿を投影するんですけど、自分が映っていると思うとまたそれで興奮しましてね、立ち上がったり、手を振ったり、大変なことでしたんですけども、それもちょうと最初から映さないように、2回目、3回目からはしまして、もうこのスライドをちゃんとそこだけを映したまま、ずっと座学が終わってからみんなの姿を映すということにさせてもらいました。そのほうが落ち着いてできたかなと思います。

あとは、写真の記録については、ちょっと駄目な方も多かったり、やっぱり今は写真が難しい時代になっていますので、そこはまた事務局の方からもちょっと伺いたいなとは思っています。

私が自分でさせてもらって感じたところはそういうところですけども、皆さんからまたご意見があつたらお伺いしたいと思うんですけど、見学の様子ですね、傍聴席も行っていただいて、何か議長席にお座りになりたいみたいなので議長席も座っていただきましたが、そこら辺が、そこも興奮するんですけども、どうですかね。

（「活気盛んな方たちなので」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 最初は好きなようにばあつと行ってもらったんですけど、後半はここからこっちの席の子はまずこっちへ行って、それからこっちの席の子はまずあっちへ行ってということで、ちょっと指示をさせていただく中でしていただきました。

（「3年生の中でもそんなに違うのかな」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） クラスによっても全然カラーが違いますし、やっぱりそのときそのときの対応が必要かなと思いました。

参加された方、どうですかね。

森委員。

○部会員（森 英之君） 一応、私2回とも出席させてもらったんですけども、1回目がたしか時間感覚的に30分あって、少ない人数でしかも時間が少し余裕があったというふうに思うんですけど、2回目がさらに20分で35人という、だから時間がないうちで2回目で少し慣れた部分もあってよかったと思いますけど、ちょっとやっぱり議長席に座るのがみんなが喜ぶので、そこをいかに流れ作業のようにうまく持っていくかというのはちょっと工夫が要するというか。やっぱり整列させるのと次行って次行ってという2人議員は要りましたね。その中で福沢さんが説明するのも20分という時間でうまく簡潔にしてもらったので、その後またこっちにも来てもらいましたからね、委員会室のほうに。委員会室に来てもらったので非常に時間がタイトだなと感じましたけど、2回目はそれなりにちょっと慣れた部分はあってよかったと思うんですけど、2回目にしてもクラスによってはもう全然、先生の言うことを聞かずに落ち着きがないクラスだったし、2回目のところは非常に冷静に聞いていたし、全然クラスでも雰囲気が違うなというのも感じたので、そこを心積もりしながら対応しなくちゃいけないというのは感じましたけど。今回まあ初めにしてはうまくできたんじゃないかなとは感じました。

○部会長（福沢美由紀君） ちょっと疑問なのが、議長席に座ってもらうのに議長の説明はしなかったんですね。椅子だけ座ってもらって議長って何なんやろうなと。何か中学生議会では議長ってこういうことをする人ですよという話はしたんですけども。

（「あんなに高い椅子にね」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） そこはどうなんかなと疑問に思います。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） 児童会になぞらえてするのであれば、児童会の会長さんみたいな形でちょっと説明を入れてあげたらいいのかもしれないですね。

○部会長（福沢美由紀君） 草川委員。

○部会員（草川卓也君） 2回目だけ参加させてもらいましたが、さっきの議長席のところもそうですし、何かもうちょっと説明が終わった後は議場の見学みたいな感じで結構わあという感じになって、傍聴席のほうも誘導したんですけど一部の子しか来ていなかったですし、半分ぐらいの子しか多分傍聴席を見ていなかったと思うんですよ。多分議長席周辺とか議員席の周辺にずっといた子も多分いたと思うので、流れでみんなスムーズに手際よくみんな誘導して、それぞれ傍聴席は傍聴席で私がアドリブで説明していたんですけど、その辺をもうちょっと何か段取りよくみんな同じ説明を受けられるようにしたほうがいいかなというふうにはちょっと思いました。

○部会長（福沢美由紀君） なるほど、傍聴席の説明もね。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） そのときに集まれる議員の数にもよりますが、この列はこの議員が、この列はこの議員が誘導するみたいな感じで、もう割り振ったほうがいいのかもしれないですね。

（「事前に決めておいたらいいかも」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 深水委員。

○部会員（深水隆司君） 私も1回目に参加させていただきまして、やはり子どもたちはそういう議場という異空間でやる刺激的な場所を見て、何か感動するなり驚きがあったと思うんですね。なので、その見た目だけでいろんな感受性を高くいろいろ感じたと思うんですが、説明も聞いていただいていたんですが、やはり説明、ちょっとモニターだけやもんでちょっと遠かったですね、見る子どもたちからモニターの説明、この写真ね、そこら辺の改善。例えば、このリーフレットを配るとか、そこら辺の、やっぱりこうやってきれいに作ってもらったリーフレット、それを子どもたちにちょっと配ったらどうかかなということもまた考えていかなければならないのと、もう一つは、聞いたところによると、その学校は遠足の途中で来たということでしたもんですから、私の経験からすると、やっぱり社会見学として位置づけて来るのと、ちょっと遠足でというのは若干ちょっと異なるのか、そういうところの対応もまた違うのかなというふうな感じはしました。以上です。

○部会長（福沢美由紀君） 資料を配るかどうかについては、確かに検討したんですけども、人数も多いし、取りあえずこれでやってみようかということでは、先生が必要と言われたらまたそれできるし、タブレットも子どもたちが持っているので、例えばそういうところを送るということもできるかもしれませんけど、どうしたもんでしょうね。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） ただ、そのときに見るのと帰って見るのとではちょっと感覚が違うと思うし、可能やったらコピーしたやつを置いておいて回収する、そのときだけはそれを見てもらうとか、何かそういう工夫。

○部会長（福沢美由紀君） 毎回、毎回はちょっと用意するのが大変ですね。

（「使い回してね」の声あり）

○副部会長（森 美和子君） 多分遠足なんか行ったらもうくちゃくちゃになって、入っちゃうもんで。そういう何か工夫が要るかなと思う。

○部会長（福沢美由紀君） 視察用にちょっともう配るみたいなものを用意するというのもありかもしれませんね。

事務局はどうですかね、参加していただいた感触として。資料の扱いはどうしたもんかなというのが確かに思いましたが。視察用にちょっと準備するというのは可能ですかね。

山北主任主査。

○山北議会事務局員 できるものと思いますし、人数分事前に用意しておいて、置いていってくださいということで人数分用意することは可能かと思います。ただ、やっぱり子どもさんが使われるものですので、私個人的な意見になってちょっと申し訳ないんですけど、やっぱり回を重ねていくごとにぼろぼろになっていくので、都度用意するのかなあ、どうしたらいいかなというところです。

○部会長（福沢美由紀君） 櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） 今回、1回目が遠足やったんですけど、遠足は無理かと思いますけど、2回目はもうそれ専用に來ていたのので、タブレットをご持参いただいて、タブレットで学校経由でこの資料を送らせてもらって、同一この画面で見ってもらうということをすれば、何か議員と同じようなイメージになると思うんで。やっぱり僕も思っていたんですよ、画面がすごく小さくて、子どもたちはそんなもう見られるような状態じゃないので、特にこの画面に近いところの子どもたちは後ろを振り

向きながら見ていたので、なかなか難しいと思いますので、学校との調整が必要だと思いますけど、せっかくタブレットがあるのでそれを有効に使ったらどうかと思いますので、一度ご検討していただきたいと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 学校の先生のご意見も聞いて、今は結論を出さずにしたいと思います。ほかは何かなかったですか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） またありましたらいつでもおっしゃってください。

今のところ3年生を対象に資料を作るということで、私ちょっと今言わせてもらって、これも足したらどうかというところについては、どうですかね、足させてもらってもいいんですかね。話をするのにかえってシンプル過ぎると何かアドリブが入って、ちょっと難しいかなと思いますので、流れていけるようにもう少しちょっと足させていただいていいでしょうか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） 当日の、今回でも応援体制をどうしようかなということを心配していましたが、何人来ていただけたので、そうやって子どもたちが後ろに座っていると集中していないよとかね、私たちがしゃべっている、私の見えないところをみんな見ていただいたりとか、教えていただけてよかったかなと思うんですけど、これは例えばこの中で、今回はもう本当にこの中でやっていただいたところですけども、そういう子どもたちを見守ったり、そういうふうなものに対しては全体にまた問かけけるのか、今回作ったばかりでこの中で皆さんにお願いするのとかどうですか。例えばこういう議場の見学なんかでもね。ここだけでもみんなとやって。

（「主権者教育部会だけで」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 主権者教育部会だけでやっていくということを。せんだってからの課題としては全体のものにといいところだったので、一応投げかけだけでも、こうこうこういうことがありますのでということでしたいくのか、というところについてはどうですか。

（「議場見学の話ですか」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 現場見学の話です、今。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） 全体に投げかけていただいても、その主権者教育部会だけでも日程調整大変なので、都度来られる人という形で、見学については決めておいたほうがいいんじゃないかなと。いいですね、全員が来なくてもね。来られる人でということで。また説明員もローテするなり皆さんでやっていただくという形で。

○部会長（福沢美由紀君） この中のことはそれはしなくちゃいけないので、そのための資料作りなんで、していきたいと思うんですけど。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） 全体に呼びかけてもいいと思いますよ、来ないかもしれないけど。

○部会長（福沢美由紀君） 基本的にでもちょっと説明員はしばらくの間、この中でやっていただけたらありがたいかなと思うんですけども、そういうことで、あることについてまたご覧になりたい方もおいでかも分かりませんので、一応全体に周知してもらおうということについてお願いしたいと思います。

これ今回こうやって2回やった後、皆さんにこうやってお聞きして、フィードバック、評価どうしていかなということについてもあれなんですけれども。いつ何ときオファーがあって、何をするかわからない状況なので、今度6月1日号でお知らせをしますが、例えば土・日に来てほしいと言われた場合、これはもう議場見学ではないんですけれども。

（「出前授業」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 出前授業とかワークショップとか。土・日にご希望があった場合はどうですか、たしか土・日はあかんとは書いていなかったような。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） そうですね。だから対応するという覚悟で出させてもらったのかなと思うんですけれども、そういう場合もだから都合のつく方というのは常に皆さんにお伺いしながら。すみません、事務局さんもちょうとご苦労をかけることになってしまうんですけれども、そんなにわんさかわんさかオファーがあっても、うれしい悲鳴なんですけれども、そこもちょうと覚悟をいただきながら、都合のつく方みたいな形の緩いことでよろしいでしょうか。

（「いいと思います」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） これ、もし土・日になった場合、事務局なしと考えることもできますか。

議員だけでやったらいいというか、どう。

（「できるんちゃうかな、段取りは大切やけどな」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） やることはできると思うんですけれども、その中でやったことも責任というか、それが議会としての活動なのかどうかというところで。どうなんでしょう、局長に聞きたいと思います。

大泉事務局長。

（「心配」の声あり）

○大泉議会事務局長 心配という声をいただきましたけど、心配とかあれやなくて、施錠をしておりますので開錠をしなければならないことと、モニター等をお使いいただくというシーンでは、機械を立ち上げてというか、そういうのもございますので、そこはちょっとお手伝いをさせていただくかなということかと。

○部会長（福沢美由紀君） 森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） 私、出前だと思っていたから、外に出ていくという感覚でいたので、議場を見ていただくという感覚ではなかったので、事務局は要らないかなと思ったんですけど、議場を動かしてする場合は確かに要るな。

○部会長（福沢美由紀君） 外に出ていく場合はどうですか。

○大泉議会事務局長 資料等の準備とかが出来上がっておれば、ご厄介いただくことは可能は可能だとは思うものの、やっぱり事務局も見せていただくのがどうかな、いいのかなというふうに思うのですが。

心配はございません。申し訳ないなというところです。

○部会長（福沢美由紀君） できることは全然できるんやと思うんですよ。ちょっと考えさせてもら

いでしょうかね。何かいろんなことが発生してくることがあるんじゃないかなとそっちのほう心配なので、できることはできると思うんですけどね。でも土・日を断っているお知らせではないので、土・日も入るということをご覚悟をいただきたいなということを思います。

山北主任主査。

○山北議会議務局員 例えば、受ける際の基準なんかもちよっとご協議いただけたらなと思うんですけども、例えば、応募があったら全て、すべからく受けるということは現実的に難しいのかなと思いますもので、例えば重なった場合の先着やったりですとか、調整ですとか、あるいは例えば正・副部長が両方とも駄目な場合、そういったときにもお受けするかどうかとか、その辺ももしよろしければご協議いただきたいと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 新委員。

○部会員（新 秀隆君） そういえば、決めてはいなかったけど、ただ土・日は駄目よは書いていないからそれは分かるんですけど、先ほど山北さんが言われたように、ある程度の定義というか基準的な。2人おるでやってくれとかというの、ある程度の5人以上とかね、そういう決まりはちょっと見ていないもんで、そういうところは検討はどうでしたっけ。

○部会長（福沢美由紀君） 何人必要ですかね。例えば、これは議場見学だったら何人必要ですかね。

5人とか4人とかそういう基準は決めるというのは、確かにありかもしれませんね。そういう場合、全体にもお願いした上で、そういう方も含めて外からやらしてもらいたいことになるのかな。

説明員は、ある程度、今言わせてもらったみたいに資料を整えて、大体このとおりにしていっていいようなものを作っていけば、どなたでもやっていただけるのかなと思いますので、正・副が万が一両方ともいなくても何とかお願い、そこしかないというオファーであれば、かなえてくださるとありがたいかなと思っているんですけどもどうですか。

今まで事務局にさせていただいていたんですよ、議場見学を。皆さんはしていただけると思うんですよ。

（「委員長や副委員長をやった皆さんは」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） それは問題ないかなと思いますけど。そう思っていてよろしいですか。はい。

○部会員（今岡翔平君） この案件が来て受けるという前に部会というのは開かれるものなんですかね。

○部会長（福沢美由紀君） どうします。

新委員。

○部会員（新 秀隆君） 来るたびに開くんでは。ある程度の中で今現在これだけの団体さんから申込みがあります、それでどうしようという形で。毎回ではちょっとつらいと思うけど、とにかく開かないかんことは開かないかんと思いますけど。

○部会長（福沢美由紀君） 森副部長。

○副部長（森 美和子君） グループLINEで表示していただいたらいかがですか。

○部会長（福沢美由紀君） 今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） ですので、受ける受けないとかも含めて、先に部会を開けば、部会を開いて、この案件をどうするみたいな感じでみんなで合意を取れば、多分いいんじゃないかなみたいな。

○部会長（福沢美由紀君） 森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） 何か基本的には受けたいなど。断るということがちょっと考えられないというか。

○部会長（福沢美由紀君） まあ議会議中。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） そう、委員会とか絶対に議員がそこにおらないかん以外は受けてあげたいと思いますけど。

○部会長（福沢美由紀君） 深水委員。

○部会員（深水隆司君） 事前に部会を開く云々という話なんです、議場見学とか出前授業とか、ある程度あまり用意が簡単なものについては受けて、当日の行ける人、行けない人がLINE WORKSで連絡を取り合って調整はできるんですが、事ワークショップになりますと、やっぱり役割分担とかそういったことは変わってきますので、やっぱりそこら辺は事前に部会を開いて、どういう進め方をするのかということ調整していただければありがたいと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） おっしゃるとおりだと思います。受ける内容によってやっぱりちょっと変えていったほうがいいかなと思う。これはどうする、これはどうする。これは見学、これはワークショップ。

○部会長（福沢美由紀君） 一応、見学についてはちょっと今回2回の経験を基に、例えばオファーがあったときには、何々小学校からありましたというお知らせを受けて、皆さん参加できる人とまずはあつとお答えを頂戴して、お返事していただくという形。

新委員。

○部会員（新 秀隆君） そういう小学校というと、やっぱり20人とか30人になってくるもので、メンバーだけでは厳しいもので、そこはちょっと相談して、教育委員会の方にもこの間みたいにあつと行かないようなそういうことも必要やと思うんで、要請ができるのならば関係部署に、土・日は別として、そういう選択肢もあってもいいのかなとは思っています。

○部会長（福沢美由紀君） そうですね、こちらへの話の聞き方が変わってきますよね。今までは教育委員会を通して来られたんですかね。必ず教育委員会に来てもらっているんで。

森委員。

○部会員（森 英之君） その議場見学を受けるのが、議会のものを見てこられるのであれば、議会がやるべきだと思うんですよ。ただ、今回とか今まで来た3年生の学校の行事として来る場合には、人数が多いということしかり、であれば担任の先生も来られるので、あと教育委員会のご援助をいただくという理想ですけど、これを見て広報を見た上で来ていただくのであれば、議会が基本的に受けるということは考えないかんというのは僕はそう思いますけどね。

○部会長（福沢美由紀君） 臨機応変にしていくなかなと思うんですけど。

大体、でもまあ議場見学については何とかできそうかなという感じがするんですけども、じゃあ出前授業は、来ていただいて授業をするというのものもありかもしれません。ここら辺をお使いいただいてね。どこかへ来てくださいというのもあると思うし。スライドとかこういうものもこちらから持っていって、映してという準備も要りますね。

(「教室にはテレビがあるんですね」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) そういう準備もございますので、基本受けるという姿勢の中で工夫を凝らしていくしかないと思うんですけども。

(「おっしゃるとおり」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) 本当に、特に決めなくてはいけないのは、何人以下やったらお受けしないということがあるのかどうかということですけれども、まだ何も分からないうちにあれなんで、それこそちょっとそういう案件があったときにご相談させてもらってもいいですかね。もうそういうところで時間を取っていても仕方がないのかなと思いますので。あることについては、こういうことをしますよということについては議会全体にお知らせいただくということに。見学いただいてもいいということもお願いして、ただどなたが来ていただくかというのはちょっと何人かとか把握したいので、そこはちょっと言っていただくということをお願いしたいと思います。

深水委員。

○部会員(深水隆司君) ワークショップですけども、例えば一般的なイメージとして、模造紙とかポストイットとか、あるいはサインペンとか、筆記用具とか、そんなグッズの準備は議会がするわけですね。

○部会長(福沢美由紀君) 議会です。

深水委員。

○部会員(深水隆司君) それも予算ってあるんですか。

○部会長(福沢美由紀君) 今までもしてきたんですけども。

山北主任主査。

○山北議会事務局 昨年の中学生議会をさせていただいた、その前の前段で議員の皆様に行っていた学校説明会、出前授業ですね。あの際にも付箋であったりサインペンのようなものを活用していただきまして、あれも事務局の消耗品の公費でご用意させていただきましたし、それ用にとっているかというところというわけではないんですけども、経常経費の中で対応させていただいたところではあります。

○部会長(福沢美由紀君) 中学生議会のときには、テーマとして亀山市についていいことも悪いことも何でもいいよということで、どんどん一遍書いてみてちょうだいという感じで始まって、それをグループワークの中でまとめていただいて、どんな意見があったかなというのを発表していただくという流れだったんです。2年間こうやってしていただいて、テーマをこうやって変えたほうがいいんじゃないかと思うところがありましたら、どんなふうに、同じようでもいいのか、もっとやり方を変えたほうがいいとかいう案もありますんですけども。

新委員。

○部会員(新 秀隆君) そのものの確認ですけど、この対象者は亀山の住人とか亀山市に従事する人が、対象でしたっけ。

○部会長(福沢美由紀君) 亀山とは書いていないです。

でも広報が手渡るのは亀山市民かなと思っているだけで、じゃあその人が入っていたからあんたはどいてんかというわけにはならないのかとは思いますが。子ども会だったら亀山市民になりますけど、例えばスポーツクラブ的な子どもたちのそういういろんな集まりですと、市民じゃない子もいる。

高校なんかもそうですね。要するに市民の捉え方ですけれども、学校はこういう捉え方でいいかなとは思いますが。

今岡委員、どうですか。ワークショップの進め方って。中学生議会で大分リードしていただいたんですけれども、櫻木委員と今岡委員には。もしそういうワークショップみたいなことで学びたいというものがあつたとしたら、どんなやり方をしたらいいかというのはありますか。

鈴木委員。

○部会員（鈴木達夫君） 今回、6月号でこういう形で出前授業をやりますよということは、大きな議会としても一つの起点というかね。特にワークショップなんか行きますと、今まで亀山市議会が一番弱い部分であろう、いわゆる広聴機能みたいなものもはっきりしていて私は非常にいいことだと思います。多分、今ワークショップの話題だったんですけれども、当然オファーをしてくる団体とか、何らかの狙いとか、こんな点でディスカッションしたいよみたいなあるようにも思うんですね、そういう意味では、やはりどういう形でやるというよりも、どういう形でこちらがフレキシブルに対応できるかということになるのかなというふうに思いますので、こういう形でワークショップはやるんだというような、今我々が決めつけをするよりは、やっぱり柔軟にフレキシブルに対応していくという形のスタンスでいいんじゃないかなと私は思います。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

もともとこれが始まったのが、授業でこちらからしゃべってばかりではどうもバランス悪いしいかなあということでお聞きしようということで急遽入れて、それがどんどんずっとつながっていったという経緯がありますので、出前授業があつたときに、これをセットでつけていくということもやっぱり今までのようにあるんだとは思いますが。

皆さん、どうですか。授業、どうですかね。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） さっき鈴木さんから言われましたけれども、どんな団体が来てもやりますというか、受けたいとは思うんですけれども、多分団体の要望とか内容によっては、ワークショップの内容が変わったりとかあると思うんですね。そういうのを多分何かLINE、LINEというかぼんと受けちゃって、いや、今岡さんと櫻木さん、そんなことをやるとは思わんだよみたいな、部会との相違みたいなのをなくすために、ある程度最初は案件が来たときに部会を開いて、みんなのニュアンスを確認したほうがいいかなというふうには思いましたが。

○部会長（福沢美由紀君） 森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） 出前授業なりワークショップなりを受けるときの打合せをちゃんと、相手さんたちがどんなふうに思っているのか、そこはちょっと打合せが要るのかな、そこを展開していただくのが。こういうご依頼が来ているんだけどみたいな形で、相手さんのやつをちゃんと聞いたほうがいいかもしれない。

○部会長（福沢美由紀君） そうですね。本当にまだ。

（「どういう反響か分からないもんね」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 海のもんとも山のもんとも分からないことに対してあまり細かい詰めをするのは不可能なんだろうなとは確かに思います。ですから、今岡委員も言うように、もし集まれるならできるだけ集まって、この方たちがこういうことをやりたいと言っているよ、どうしましょうか

ということができればいいかなとは思います。

（「一番いいよね」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 一番いいのかなとは思います。

何せこれ11人ですので、全員が集まる日を見つけるのが大変な困難にはなってくるかと思えます。そこをどうするか。もうね、朝早くからするとかね。

本当に大変だと思うんですけども、LINE WORKSも活用しながら、絶対に皆さんに合意をちょっと取りながら。

草川委員。

○部会員（草川卓也君） 出前授業と議場見学はほぼほぼスライドの内容を固めるんだったら、もう話す内容とか決まってくると思うんですけど、ワークショップについては団体さんと話をして相談して、テーマをその都度決めるという、そういう方針なんですかね。ここ一応この案内の中には、テーマは市議会って何というのが全体のテーマになっているんですけど、ワークショップで市議会は何というのがワークショップとしてはちょっとテーマとしてどうなのかなとも思うので、例えば子どもと魚のネットワークさんだったら自然環境とかね、そういうふうな決め方をしてやっていくのかどうかというところ、そのほうがいいのかなとも思いつつ、ちょっと本来の趣旨とは若干ずれていく可能性もそこであるなと思ったので、テーマさえ事前にしっかりみんなで共有すれば、大きく変な方向には行かないのかなというふうにはちょっと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 自然環境でも何でも、とにかく暮らしに関わるもの、政治に関わらないことはないので、いろんなテーマであってもいいのかなと思っています。必ずしも市議会で何というテーマで話し合おうとかということではないので、それはいいと思います。

そのお受けする中で決めていくということが一つ必ずあると思うんですけど、出前授業のときには、私こだわりますけど、中学生議会で授業だけではあかんという実感があって、ワークショップを入れたという経緯があるんですよ。今回のこれを授業だけというのは、それは相手のニーズであればそれでいいと思うんですけど、基本的に授業とワークショップみたいな絡めたものを授業とするのか、授業だけということにするのかという、それも先方のご意向ということにしていいいですか。

（「時間もあるし」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 時間もありますもんね、どんだけしたいかという。

（「学年もあるし」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） それでは、すみませんけれども、お話をいただいたときに、できるだけ部会長、副部会長がおったら一緒に対応させてもらえたり、お聞きできたりできるといいかなと思いますので、十分お聞きしながら皆さんに諮っていくということで、細かいことが決まり切りませんけれども、よろしいでしょうか。その都度問題ができれば集まっていただきます。

出前授業についてなんですけれども、出前授業の資料作りについてなんですけれども、今は議場見学の簡単な資料しか、小さい項目というのができていません。出前授業用にまたこの亀山市議会、中学生議会のボリュームにはなりませんけれども、小学生バージョンのものを作ることを進めていくということでよろしいですか、それは。

森副部会長。

○副部会長（森 美和子君） ちょっとこの小学生バージョンも高学年と低学年では少し温度差が違

うので、そこもちょっと考慮しながら作っていく必要があるのかなと。

○部会長（福沢美由紀君）　そうですね。そこは餅は餅屋で学校の先生にお聞きしながら、ご相談しながら、2パターンが要るのであれば作っていかないかんと思います。高校生がもしいらっしゃったときにどうしようという話もありましたけど、前は聞いていたところは中学生のもので十分いいんじゃないだろうかと声をいただくわけなんですけれども、まず小さい子向けのものを進めていきたいかなと思います。それでいいですか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君）　次、今度は神辺小学校の庁舎見学の一環で議場見学をされますのが7月2日木曜日、10時半から11時半、この間の20分から30分程度、1クラスなんですね、これ。小学校3年生全部で18人ですね。7月2日の皆さんのご都合を。今分かっていたら言ってもらってもいいですけど。7月2日の10時半から11時半の間。

鈴木委員。

○部会員（鈴木達夫君）　この前行かなかったから俺出るよ。

○部会長（福沢美由紀君）　7月2日です。お願いします。

○部会員（鈴木達夫君）　この前出なかったのは自分の都合もあったりもしたんですけど、仮に少ない人数で、議員がこのメンバーがどさっと待ち構えていて、何かそういうのが雰囲気が出ちゃうかなという心配もあったんです。だから、それでたまたま僕遠足の途中で寄るとかと聞いていたもので、遠足で議場、社会見学でということと、何か雰囲気が自分の中でフィットしないということもあって、今度18人ということで、別に何人にしようなんていう規定はないんですけども、あんまりこの全員でぞろぞろ身構えてというのはいかなものかなと私は感じているんですけどね、私はね、皆さんどう感じるか知らないけれども、というような感じがしました。

○部会長（福沢美由紀君）　当初、それを心配される委員の意見もあって、僕らはちょっとこそつと後ろにおりましようとかかみたいな、何か言っていたいたんですけども、実際に子どもたちのパワー、そして私らもこんなに先生も来てくれるんやとか、教委のほうからもいらっしゃって、特にそういう意味で圧力を与えとか、そういう心配はなかったのかなと実感はしております。かえってその見学、傍聴席へ行ったり、そこの傍聴席と議長席の間をちゃんとつないでいただく人とかをお願いしようと思うとやっぱり人手が要るんですね。ですから、そこら辺のご心配は大丈夫かなという気はしております。

10時30分から11時30分の1時間の間に、どこかで議場を見学するということです。

鈴木委員。

○部会員（鈴木達夫君）　議場を見学して、そういう説明をしてくれますよということは、子どもたちには伝わっているんでしょうか。

○部会長（福沢美由紀君）　伝わっています。今までもしていましたんで。今までも事務局がしていましたんで。

またLINE WORKSで出席をまた明らかにしていただきたいと思います。それで先ほど決めましたように、ほかの皆さんにもお知らせをいただきたいと思います。

それで、いろんな資料もありましたので、先ほど言いましたように、それをぜひ見ていただきたいなというのと、議会改革度調査2025年総合ランキング、前回18位だったんですけどね、今回1

6位に上がったんですね。一番上がったやっぱりところが、主権者の参画というところがぐっと、多分こういう子どもたちの議会をしたり、子どもたちの声を聞いたりというところがきっと。

(「全国で、全部で」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) 前回18位だった。今回16位。これは25総合ランキングと書いてあるんで去年ですね。

(「亀山すごいね」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) そうなんです。三重県で四日市が13位で、いなべが8位。三重県もありますね。

(「三重県が頑張っているということやもんね、県内が」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) そうですね。

ということで、やっぱりこの私たちの活動というのは大いに関係してきますので、頑張ってまいりたいと思います。

次回の開催日程案なんですけれども、議会改革推進会議主権者教育部会の開催日程案として、6月24日水曜日の本会議終了後にさせていただけると、要するに資料を作りますんで、今日協議していただいた、それをちょっと確認いただきたいということも含めてお願いしたいんですけれども、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

(「閉会日」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) 閉会日です。

ほかに何かありませんか。

局長、お願いします。

○大泉議会議務局長 ご協議いただいている中で、部会長から少しお言葉のあった写真の件がございました。写真の件について、学校は写真を撮っていいか承諾を取っています。それをホームページに載せていいとか、学校だよりも載せていいとかいうような承諾を取っておるというふうなことを、すみません、過去の経験からですけれども、今も取っているんですけれども、どのような内容までかは知りませんが、必ず承諾を取っています。

その中で、私が教育委員会にいたときに、1つ、極論、極端な例を聞いたことがあります。親によつては指1本写っても、誰の指か分からんと思うんですけれども、それでも大変学校とめめたということがあったと聞いています。これは実施の中で内容もしかりなんですけれども、やはり写真の撮影であるとか、そういうのも事前にお申込みのあった団体様と少しお話をした上の中で進めていく、SNSの上げ方であるとかそんなのも含めてですけれども、あったほうがいいのかなというふうに思いましたので、以上です。

○部会長(福沢美由紀君) その確認を怠らないようにしたいと思います。

ほかはありませんか。

(「なし」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) ないようでしたら、以上で議会改革推進会議主権者教育部会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前11時45分 閉会

この会議録は正当であることを認め、ここに署名する。

令和 8 年 5 月 19 日

議会改革推進会議主権者教育部会長 福 沢 美由紀